

新山自治会報



看板も見えない位、何メートルもある雑木林だった「古代の丘スポーツ公園」の登り坂に百本桜の植樹をして丸4年が過ぎました。植樹をした当時は、各自が水やりや草刈りに通った事、枯れてしまつて再植樹をした事、にいやま新栄会の皆さんが毎年暑い中繰り返し全体的草刈りをして下さっている事、有志の方が軽トラで防虫剤を散布して下さいる事など、お陰様で春には美しい桜の花を付けています。途中には「おやすみ処」ができ、また最近では「百本桜の丘」の看板も再設置されました。すべて新山のボランティアの力です。荒れ果てた故郷にはしたくありません。私たちの住み慣れた故郷が、人の手により整えられ、いつまでも落ち着いた処であつて欲しいと願います。



大繁盛！ 新山食堂

「隣のおじさんが認知気味じゃけど100円握って自分で歩いてうどんでも食べに行ける処があつたらなあ・・・」の声に動かされ始めた新山食堂。どうせなら一人で食べるより皆で食べよう！と。今年で6年目を迎えました。当初は台所の狭さから30食限定?! スタッフ不足・経費の問題など暗礁に乗り上げた頃もありました。

今では、スタッフの食事を含めると1回につき80食の昼食を作っています。お寿司の時は140食作ります。洗い物だけでも大変です。でも皆様のご協力や笑顔に触れると嬉しくなります。

1日と15日は300円持って、土倉記念館の「新山食堂」にいらっしやいませ！笑顔の素敵なスタッフがお待ちしております。(8月15日と1月1日はお休みです・・・)



子どもから高齢者まで
みんな待ってるよ！
予約して来てね。



草刈り隊 「にいやま新栄会」

「百本桜の丘」
を草刈中！

▲大型草刈機で
草刈中！

▲中型草刈機で
草刈中！

「にいやま新栄会」のメンバーが、休日を返上して新山地区内の耕作放棄地や空き地などの草刈りを請け負い実施しています。最近では県外に出ている方からの依頼もあります。この活動は、市内の他の「まちづくり協議会」にも広がり始めています。



井笠鉄道記念館

笠岡市井笠鉄道記念館

開館時間 午前9時～午後5時
 入館料 無料
 休館日 月曜日(月曜日が祝日のときは休館日)
 12月29日～1月3日

井笠鉄道記念館をきれいに整え、笠岡市から委託を受けて3年。



駅前地区と婦人会に管理をお任せしています。
 市内外から大変多くの来館者を迎え(一万人超え)地元管理者としても驚いています。
 この小さな田舎の新山の魅力発信になっていくと自負しています。

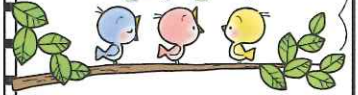
販売中!

- ・切符のストラップ
- ・懐かしい映像のDVD
- ・レールの文鎮
- ・飲み物
- ・SLクッキー
- ・爆弾アイス など

気軽に寄ってね!



古墳公園 草刈り



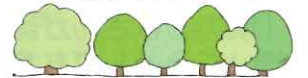
- 2回目: 5月28日 (日)
- 3回目: 6月25日 (日)
- 4回目: 7月23日 (日)
- 5回目: 9月10日 (日)

※午前7時から 午前9時まで(予定)
 ※軍手持参
 ※飲み物は事務局で用意します。
事故やケガには十分注意してください。

※当日の朝、雨模様で草刈りがあるかどうか判断に迷う時は、笠岡放送のdボタンで中止延期の確認をすることができます。

dボタン→私のまちな回覧板→コミュニティ回覧板(新山)→古墳公園の草刈りの手順です。

ご利用ください。



いつもありがとうございます

調子のいい言葉、うまい話にご用心!

はと麦味噌づくり

「はと麦味噌の会」のメンバーが、悪戦苦闘しながらも何とか只今、美味しいはと麦味噌が土倉屋敷の蔵でしっかりと熟成されています。とても優しくコクのある美容と健康に良いお味噌です。さっそく注文も入ってきています。梅雨を過ぎて蔵から出すのが楽しみです。

<200g入: 200円 1Kg入: 1,000円>

ご注文は新山地区自治会まで・・・☎0865-69-5011



圧力鍋の蒸気が天井まで吹きこぼれ掃除に困ったり、不安で夜中・早朝も発酵機の温度を見に覗いたり、塩分濃度を食べ比べたり・・・と様々なエピソードやハプニングを繰り返しながら頑張りました。

新山地域安全パトロール隊から

悪質商法

人を紹介するだけで
お金がもらえる?
 簡単にもうかるとおわせて
 お金をかき集める

↓ **だまされています!**

- 人を紹介して 収入を得るのは法律違反!
- 出資したお金が 戻らないばかりか、友人をなくすことにも!



笠岡市の人口が5万人をきりました。新山の人口は1804人でしたが、今年4月の人口は1620人です。毎年30人近くが減少しています。今年1月に総務省が実施したインターネット調査では、都市部に住む人の約3割が農山漁村への移住を希望し若い人ほど関心が高いそうです。★へ続く

★ 経済ばかりに依存しない真の「豊かさ」とか当たり前の「幸せ」を求めているのではないのでしょうか。私達もそれに応えられる様な地域づくり・人づくりに努めたいと思います。都市部では見落とされそうな人間関係や絆づくり、周りの他人を思いやれる心の余裕みたいなものを失わないようにしたいものです。